

# SEVEN BEACH FESTIVAL 2018

## ～海と日本 PROJECT～ 報告書



SEVEN BEACH PROJECT 実行委員会

## はじめに

2013年8月に「ガレキからビキニへ」というテーマで始まった『SEVEN BEACH FESTIVAL』も今年で6回目を終えました。

2017年に正式な海開きをしたことで「多くの人に来てもらうために被災した菖蒲田浜のイメージを変える」という当初のイベントの目的は役目を終え、今年から新たに「景色やカルチャーの火種を創っていく」という思いから『My Home Beach』というテーマを立て、1年を通した『SEVEN BEACH PROJECT』として様々な企画を進めてまいりました。

この報告書では1年を通して私たちが行ってきた活動をそれぞれ紹介させていただきますので、全体として私たちが行っていることを感じていただければ幸いです。プロジェクトを進めるにあたり、七ヶ浜町の皆様や日本財団様をはじめ多くの個人、企業の皆様に、直接的にも間接的にも多大なるお力添えをいただきました。

一つ一つの思いに深い深い感謝をすると共に、頂いております恩の分もしっかりと地域の未来に貢献できるよう、新たな海の景色やカルチャーが作られ地域の子どもたちにとってこのビーチが誇りになるよう、今後もますます精進し、活動していきます。



## 日本財団 海と日本 PROJECT × SEVEN BEACH PROJECT

### 海と日本 PROJECTとは

海と人と人をつなぐ。

さまざまなかたちで日本人の暮らしを支え、  
ときに心の安らぎやワクワク、ひらめきを与えてくれる海。

そんな海で進行している環境の悪化などの現状を、  
子供たちをはじめ全国の人たちが「自分ごと」としてとらえ、

海を未来へ引き継ぐアクションの輪を広げていくため、  
日本財団、総合海洋政策本部、国土交通省の旗振りのもと、  
オールジャパンで推進するプロジェクトです。

海と日本 PROJECT が推進する 5 つのアクション

海をキレイにしよう！

海を学ぼう！

海を味わおう！

海を体験しよう！

海を表現しよう！

### SEVEN BEACH PROJECTとは

菖蒲田を東北一カッコいいビーチにするアートプロジェクトです！

『ガレキからビキニへ』をコンセプトに 2012 年  
から 5 年間ビーチフェスを開催。七ヶ浜町内外  
の人たちと一緒にビーチクリーンも定期的に行  
い、菖蒲田浜に人が集まり、笑顔が溢れるよう  
に活動してきました。

昨年の震災後初の正式海開きを迎え、たくさん  
の人たちが海に戻って来た事を受け、次のフェ  
ーズへと移行していきます。

『My Home Beach』をコンセプトに、また帰っ  
て来なくなるビーチ、家族との素敵な思い出が  
でき、心が癒され、多様な文化が交流してい  
くようなイメージでプロジェクトが動き出して  
いけばと思います。

★コンセプト★  
『My Home Beach』

～癒し・遊び・繋がる～

---

---

今年のコンセプトは『My Home Beach』

菖蒲田があなたにとっての居心地のいい、  
安全でリラックスできる場所になるように

まるでホームパーティーのように始めて会った人とも  
友達になれるような繋がれる場所になるように

そしてこのビーチを一人一人が自分の場所となり、  
綺麗に環境を保てるように

そんな身も心もオープンになって、  
リラックスできる場所にこの菖蒲田ビーチがなるように。

想いを込めて  
今年のコンセプトは『My Home Beach』にしました。

---

---

## プロジェクト概要

菖蒲田のビーチをフィールドに七ヶ浜町の人たちはもちろん、菖蒲田を愛する人たち、近隣の学生など次世代の若者たちと共に、新しい景色やカルチャーを想像しながら一年を通して様々なコンテンツで活動しています。



## SEVEN BEACH FESTIVAL 2018

「浜の文化祭」のような活動発表の場として開催いたしました。

# 1000人 BEACH CLEAN!

昨年も開催した「1000人 BEACH CLEAN!」。七ヶ浜町制60周年となる今年も、「また来たい」と思ってもらえる菖蒲田浜、七ヶ浜町を目指し、子どもたちが安心して走れるビーチをつくるため、1000人が協力するビーチクリーンを実施しました。



5つのブロックに分けて石を中心に清掃活動をし、各ブロックにはリーダーを配置して、時間配分や移動、分別の指導を行いながら活動。参加者が手で拾った後は、企業の協力のもと、バギーを使ってより綺麗に仕上げていきました。



日時：7月8日（日） 9:00 受付開始 / 10:00～12:00 ビーチクリーン  
共催：七ヶ浜町・七ヶ浜町観光協会・七ヶ浜町教育委員会・  
SEVEN BEACH PROJECT 実行委員会・一般社団法人 OASIS

- 団体：株式会社ケーヒン&HONDA(262名)・東北電力(株)(66名)  
OKIグループ(39名)・JXTGエネルギー株式会社(14名)  
からだ復興支援隊ボディヶ浜(2名)・朝日町ボランティアの会(7名)
- 地区：七ヶ浜町 笹山地区(11名)・七ヶ浜町 汐見台地区 友の会(7名)
- 学校：多賀城高校 軽音楽部(47名)・多賀城高校 家庭部(27名)  
多賀城高校 ボランティア(17名)・七ヶ浜町立向洋中学校(182名)
- 一般(302名) ● スタッフ(32名)

◎合計参加者数(1015名)



## 地元中学校美術部と大漁旗制作

5年目となる地元中学校美術部による大漁旗の制作。七ヶ浜中学校と向洋中学校2校が制作した大漁旗は今年も海開き期間中、ステージになる休憩所「ハマギク」に飾られ、海水浴客を見守ってくれました！さらに今年は、松島中学校の美術部も新たに加わり、地域を越えて大漁旗で繋がるようなプロジェクトに発展していきました。



### 七ヶ浜中学校美術部

七ヶ浜中学校はめでたく多くの人を迎え入れる「千客万来」をイメージ！地元の神社や特産物を描いたり、昨年描かれたカラフルなハマギクを今年も受け継いで、全体としては遠くから見ても目立つように工夫もされています。



### 向洋中学校美術部

向洋中学校は『My Home Beach』のコンセプトから「つながり」や「未来」などのイメージをアイデアに、自分たちのジャージの色を取り入れたり向洋中学校ならではの色使いや虹色を使い、表現。輝く未来を望む、「輝望」「Rainbow Future」の言葉に想いを込めて制作してくれました。



### 松島中学校美術部

松島中学校は松島湾の対岸にある七ヶ浜に想いを込めて制作。七ヶ浜町の町花の「ハマギク」と松島町の町花『セッコク』を描き、花と花でつながるイメージを表現し、背景には学年カラーの赤・青・緑を取り入れ、一人一人の気持ちも込めて制作してくれました。



## 「ハマひら」ワークショップ & 「サーフ体験」

海と自分をテーマに五色の旗にシンボルマークを描き、海への想いを描いた旗をビーチに掲げて浜風にひらひらとなびかせ世界へ想いを届けるプロジェクト「ハマひら」。そして実際にサーフボードを使い、バランス感覚を鍛えるトレーニング体験、この2つのワークショップを様々なイベントで行い「海」を感じ、考える時間を体感してもらいました。今年も地元中学校の美術部の生徒も描いてくれています。



3月4日(日)  
七ヶ浜きずなハウス  
～きずなネットまつり～



5月19日(土)  
多賀城鶴ヶ谷児童館  
～児童館まつり～



6月9日(土)  
七ヶ浜SEA SAW  
～びいちいち～



6月30日(土)  
多賀城菖蒲園  
～多賀城あやめまつり～



7月21日(土)・22日(日)  
勾当台公園  
～TBC夏まつり2018～





# 多賀城高校とコラボ企画 ～創作フード&海水浴場の景色づくり～

今年で3年目になる高校生とのコラボ企画。ビーチで提供する創作フード制作・販売、海水浴場に建てる海の家の建築など、新しいサービスや景色をフレッシュなアイデアと力で創り上げました。

## 家庭部創作フードメニュー 「花野夏」～3年目のコラボ～

### ★コンセプトを考える

多賀城高校家庭部の創作メニューづくりも3年目。今年、料理メニューの開発だけでなく、お店のコンセプト設計からスタート。何のためにやるのか、誰に、どんな気持ちになってほしいのか…プロジェクト全体のコンセプトや、これまで「花野夏」(はなやか)に込められてきた想いも引き継ぎながら、自分たちらしい視点とアイデアで、想いの込められたコンセプトを考えました。



### コンセプト 『FLOWER ～菖蒲田(ここ)から始まる物語～』

「FLOWER」のアルファベットそれぞれに意味が。  
「F」=「はなやか」 / 「LO」=「LOVE」 / 「W」=「わ(和、輪)」  
「E」=「笑顔」 / 「R」=「レストラン」

はなやかさと愛を込めた料理とおもてなしで、笑顔の輪を広げたい。  
菖蒲田を原点に、人と海がこれからもっと交流し繋がってほしい。  
人と人、文化と文化がまざりあいながら、融合していくような、  
私たち花野夏と、海に来た人とのストーリーを創っていく。  
そんな素敵な想いが込められています！

### ★プロとのコラボ

昨年までとは異なり、家庭部のメンバーがコンセプトに基づいて考えたメニューのレシピに対して、七ヶ浜町内の飲食店3店舗にアドバイスをもらうという流れで進めた。女子高生たち自身のアイデア満載のメニューは、試作と試食を繰り返し、プロのアドバイスを取り入れながら、改良を重ねることで、よりコンセプトを意図したものに完成度を上げることができた。コンセプトと販売個数やコストの計算も意識しながら、「花野夏」というお店で表現したいもの、伝えたいものをどうしたら実現できるかを常に考えて、メニューをつくりあげていった。



～協力飲食店～

Café La Luna / Art Café Bar SEASAW / SHICHINO CAFE

## ★菖蒲田、七ヶ浜産の食材を使う

菖蒲田で育った食材を使ったメニューを開発。菖蒲田にある農園で収穫された「バターナッツ」と「バタフライピー（ブルーハーブ）」をデザートとドリンクメニューに。メインのキーマカレーには、七ヶ浜産の海苔をトッピング。菖蒲田、七ヶ浜ならではの食材を使用することで、オリジナリティとストーリーあるメニューが完成しました。

「バターナッツ」と「バタフライピー（ブルーハーブ）」を育てている農園の一部を借りて、自分たちの畑として種を蒔くことができ、今年のフェス当日の料理に使用することは叶わなかったものの、来年、再来年につながる種まきができました。

- |      |  |
|------|--|
| フード  | ・浜でノリノリキーマカレー（*ご飯 or トルティーヤ）   |
| ドリンク | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめかわどりんく（イチゴミルク）</li> <li>・しぶかわどりんく（タピオカ抹茶ラテ）</li> <li>・ばわふるどりんく（アセロラジュース+フルーツ+ナタデココ）</li> <li>・さわやかどりんく（ブルーハーブ+フルーツ+ナタデココ）</li> </ul> |
| デザート | <ul style="list-style-type: none"> <li>・花野夏プリン<br/>～チョコモカ～（プレーンプリン+チョコムース）<br/>～さくら～（抹茶プリン+イチゴムース）<br/>～向日葵～（バターナッツプリン+キャラメルムース）</li> <li>・君のサンシャインゼリー（オレンジゼリー）</li> </ul>     |



コンセプトに基づき、メニュー開発、お店づくり（装飾、POPづくり、衣装など）、運営（当日配置や広報）などを行いました。2年生を中心とした活動には、一人ひとりが自発性、自主性をもってプロジェクトに取り組んでいて、来年、再来年のプロジェクトが楽しみになるものとなりました。

### —高校生から—

「海で食べたいもの、食べやすいもの、実際に売ることが可能かどうかを」から自分たちで考え、作ることは大変で難しいと感じました。」

「考えたメニューを何度も試作をしていくうちに課題がでて悩みましたが、プロのシェフからアドバイスをいただいたり、自分達で改良したりして課題を解決することができて良かったです。」

## ～海の家建築～

海開き2年目の今年、シャワー室や休憩スペースを設けた昔ながらの少し懐かしさを感じる海の家が4店舗建てられました。

2016年にステージになる休憩所を建設したり、昨年は10棟のフードブースを建て景色に少し化粧をさせていただきました。ビーチ全体はもちろん、七ヶ浜の未来イメージを話し合ってきた甲斐あって、景色づくりの重要性を町も出店者も考えるステップになっていったように感じます。

毎年目まぐるしく変わる状況の中、今年は観光協会の共同出店ブースの為に多賀城高校の家庭部と軽音楽部の生徒達と出店者の方達と協力してフードブースを建築していきました。



## ★続けていく大切さ

今回も建築家の吉川さんの指導のもと小屋の設置を行いました。出店者の方達もこの小屋ありきで夏の運営を計画し、素早く効率的に建築できるように率先して試行錯誤しながら高校生達と建ててくれていました。

続けていく事で毎年その場所に出現するという意識になり、こわさないようにと来年はこうしたいなどのアイデアも生まれ、そして長く使えるように保管する意識も当然のように芽生えてくるし、どんどんと自分ごとになっていく感じが感じられました。

高校生達も普段は体験できない建築をとっても楽しみにしていて、夏の大切な行事の一つの様にとらえていました。



## 浜のマルシェ『びいちいち』

夏だけではなく、季節を感じながら癒しや繋がり、遊びをテーマに一年を通して開催。ビーチならではのサーフ体験やビーチヨガ、ワークショップ、癒しの空間など新しい提案をしていき、他とは違う浜のマルシェを目指していきます。10月は七ヶ浜町町制施行60周年記念イベント「スポーツフェスタ BEACH ウォーキング」と同時開催で町と協力して盛り上げていきました。

### 6月9日(土) SEA SAW 駐車場

#### <癒し>

- ジャンティ
- メイク教室美塾
- Toiro Works
- <体験>
- ハマひら
- Pilina\_ao

#### <物販>

- コトリコーヒー
- 花薫る喫茶処 蕾
- Happa. 庭
- マザーふぁーむ

#### <飲食>

- Art Cafe Bar SEASAW
- カフェラルナ
- カトマンドゥ
- SHICHI NO cafe
- <アクティビティ>
- サーフトレーニング体験
- Stella yoga

### 10月8日(月) 菅蒲田海水浴場駐車場

#### <物販>

- Seven beach manna
- kaori-0922
- Me&RK -
- Aiwon
- Patisserie Oeuf
- コトリコーヒー

#### <ワークショップ>

- むかい\*いきもの研究所
- とんぼ玉のんか
- Flower Farm 四季彩
- ハマひら
- 標本づくり

#### <飲食>

- SEASAW
- SHICHI NO CAFE & PIZZA
- 台湾喫茶・慢瑤茶
- Cafe La Luna
- <音楽>
- SEVEN BEACH JAM  
(セブンビーチジャム)



## 曲づくりワークショップ

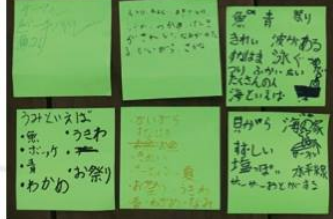
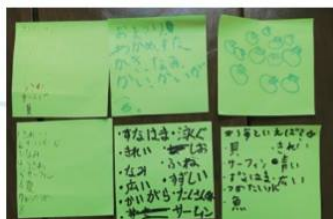
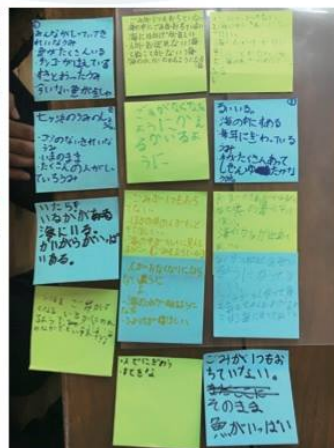
今年のテーマである「My Home Beach」を表現する一つとして「セッション」をテーマに、子ども達と一緒に曲を作るワークショップを「眠れない大人達（中村さん・永井さん・猪俣さん）」を講師に招き開催しました。目標は『SEVEN BEACH FESTIVAL 2018』でのセッションと発表。子ども達に海をテーマにワードを出してもらい、その歌詞で歌を作っていました。

7月31日（火）  
in「きずなハウス」

NPO 法人レスキューストックヤード様にお力を貸して頂き、子ども達との歌詞作りワークショップを開催。子ども達は自分で考えた言葉に即興でメロディーが乗って歌になっていく様子に喜びを感じたようです。「海を綺麗にする」という自然を守る思いが歌詞にたくさん上がっていました。

8月4日（土）  
in「SEVEN BEACH FESTIVAL 2018」

事前の歌詞作りワークショップでサビはできたものの、他の部分の歌詞を作るべく、イベント当日にも歌詞作りワークショップを開催しました。大人も歌詞作りに入ったことから「青春の七ヶ浜」など思い出の場所としての歌詞も多く出ました。



最後のセッションにはメインで動いてくれていた「眠れない大人達（中村さん・永井さん・猪俣さん）」だけでなく牡羊座流星群のリーダー達が管楽器を持って、そしてパーカショニストの奥寺さんにも来て頂き、最後の演奏では女性シンガーの佐野さんの盛り上げもあり会場全体で一つになって歌い演奏をしました。とても暖かく愛のこもった歌が訪れた方の心に残り続けてもらえれば幸いです。

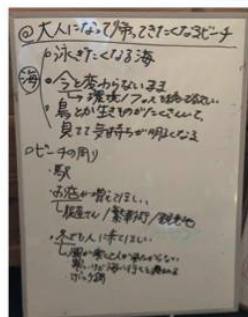
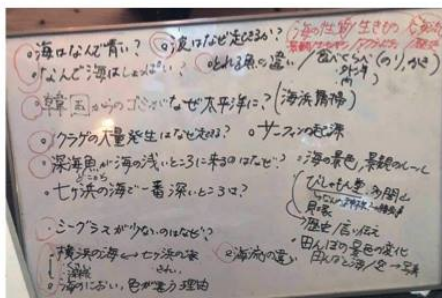
# ラジオ『by the sea』

## ～ 学生と共に菖蒲田の海と未来を考えるメディア ～

大人になってまた帰って来なくなるビーチとは？を考えていく為に、学生目線で「海」について学び、自分たちが大人になった時どんなビーチになってほしいか考え、専門家などをゲストに交えて15分間のラジオ番組を制作しました。隣町塩竈にあるコミュニティーラジオ局「BAY WAVE」の協力のもと4回に渡り放送、最終収録は公開収録での発表を目標に取材収録をしました。

### 「帰って来なくなるビーチ」と「海」について

今回の学生パーソナリティーは向洋中学校で活動しているFプロジェクトのメンバーと高校生Fプロジェクトのメンバーから選出。まずは考えるところからスタート。「海」について今までおもっていた疑問、専門家の方たちに聞きたい質問などを書き出しまとめていきました。そしてそれを踏まえて、現時点での「大人になって帰って来なくなるビーチ」を考えました。そこから適任となる専門家にアポイントを取り、取材・収録と進めていきました。



記念すべき第一回目の放送は想起を伝える回としてオンエア。BAY WAVE パーソナリティーのアサノタケフミさんの監修のもと3人の学生がパーソナリティーデビューを果たしました。



### ☆学生パーソナリティー☆

- (左) 宮城県多賀城高等学校1年 紀野國 七海
- (中) 七ヶ浜町立向洋中学校3年 山内 海奈
- (右) 宮城県多賀城高等学校1年 山本 萌乃

### ★仙台うみの杜水族館★

海や魚のことといえば、やはり水族館。そこで宮城三陸の海について詳しい魚類担当、大谷明範さんに水族館を案内してもらい七ヶ浜の海の問題や震災前後の変化などを教えて頂き、あらためて館内で質問・収録をさせていただきました。生態系にはかかせないアマモなど新たな発見や今まで以上に深く学びを得たと学生パーソナリティーも手応えを感じていました。



## ★北浜くろしおマリナーズ★

3回目の放送に向けて海から七ヶ浜を見るべく、隣町塩竈にあるくろしおマリナーズの鈴木雅博代表を船長に船で七ヶ浜をぐりと巡り、船上での収録を行いました。

自分たちの住む町を、よく足を運ぶ場所を海からの視点で見ることで新鮮な感覚をもったようです。何十年も先の「海」のことを考えている鈴木さんの言葉は重く海の様々に深みがありました。



## ★最終回に向けて★

水族館と船での取材・収録を経て、「海」について学んだ事などを共有し、「大人になって帰ってきたくなるビーチ」をあらためて考えました。そして迎える最終回、町の政策課の方に発表する為にどうするかをまとめ、話し合いをしました。

## 最終回「公開収録」

いよいよ最終回。今までの「海」についての体験・学びから、『大人になってまた帰ってきたくなるビーチ』をテーマに、七ヶ浜町菖蒲田浜にをどんなビーチにしていきたいかを考え、提案を発表してもらいました！！

そして、ゲストには、七ヶ浜町政策課の浅野豪久さんをお迎えし、一つ一つの提案にていねいにコメントをいただきました！



# 『大人になってまた帰ってきたくなるビーチ』とは？

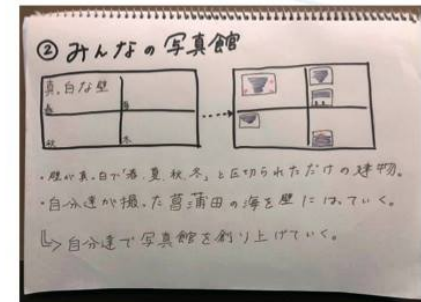
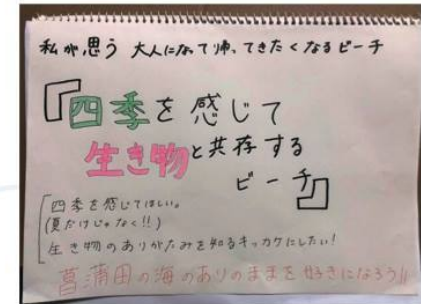
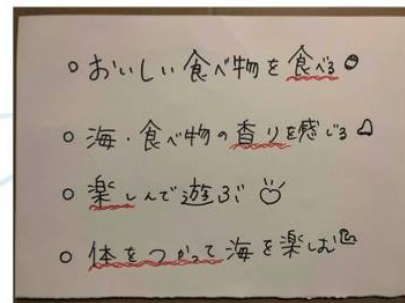
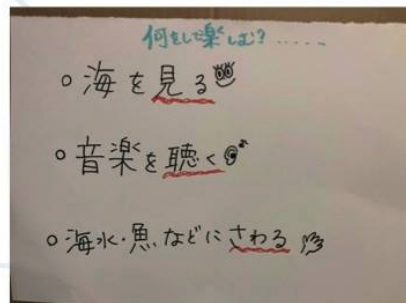
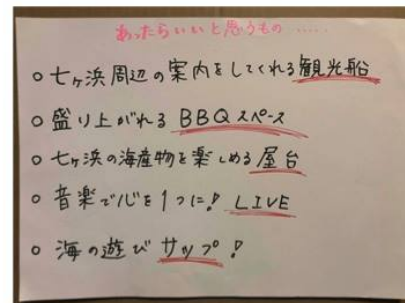
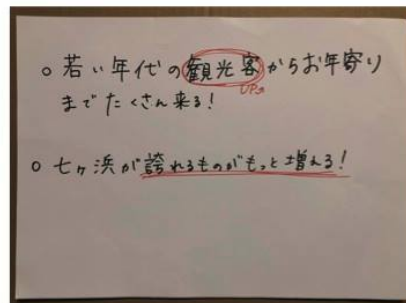
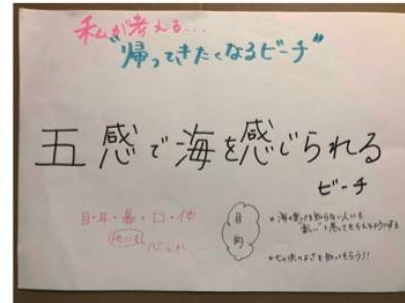
宮城県多賀城高等学校1年 紀野國 七海

七ヶ浜町立向洋中学校3年 山内 海奈

宮城県多賀城高等学校1年 山本 萌乃



七ヶ浜町政策課 浅野 豪久





# 『SEVEN BEACH FESTIVAL 2018』

一年を通して活動しているプロジェクトの発表をする「浜の文化祭」のようなお祭り。  
昨年の正式海開きを迎え、これからずっと開かれていくビーチの新しい景色やカルチャーを  
創造しながら、5つのコンテンツで朝から夜までと盛大に開催しました。



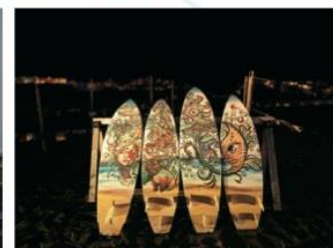
5つのキーコンテンツ

ART・ACTIVITY・MARCHE・FOOD&DRINK・MUSIC



# ★ART★

会場をハマギクをイメージした装飾や Art 作品で彩り、「MyHomeBeach」を空間的に表現。毎年恒例、地元中学生と共同制作の大漁旗や昨年生まれた『ハマひら』の展示など共同作品も多く飾り付け、ステージの前は菖蒲田に漂着した流木などで「庭」を創りだしました。



# ★ACTIVITY★

“ LOVE~ 愛は七ヶ浜を創る ~” をテーマに、誰にでも優しい体験と交流の場をつくり、ビーチヨガやサーフィン体験を実施。マルシェブースでもサーフボードの展示や体幹トレーニングができるブースも出し、未経験の人にも気軽にサーフと触れ合う場を提供しました。



yogacco、stella yoga のご協力で今年もビーチヨガを開催。サーフィン体験は今年もムラサキスポーツ仙台のご協力で開催しました。



# ★MARCHE★

“風のささやき、波の音彩（ねいろ）、光とともに、夏のビーチ de 癒しのひととき”をテーマに心と体の癒し、体験、セッションができる新感覚の空間を創りだしました。「海」を感じる事ができ、自然との共生はもちろん自然の中で人と人が交流することができました。



# ★FOOD★

『MyHomeBeach』のコンセプトの元、ホームパーティのような雰囲気を創りだしました。多賀城高校家庭部『花野夏』(はなやか)の出店と実行委員メンバーが運営する“SEVEN BEACH BAR”では、ビーチにぴったりのフードとドリンクを提供しました！



一ノ蔵のすず音、山元町のミガキイチゴのお酒など、美味しくてストーリーあるお酒を提供し、ラグジュアリーな演出となりました。

# ★MUSIC★

BeachStage では町長の挨拶に始まり、佐野碧さんの癒しの歌でオープニング。恒例となった地元チア、地元高校生バンド、スカバンドが昼の時間を盛り上げ、さらに夜に向けて女性シンガーやアフリカからツアーで来ているミュージシャンなどに繋いでいきました。



# ★MUSIC★

今年は今までと違い夜のパーティを演出。ジャンルを超えてビーチをステージにお客さんを巻き込んだ空気感が生まれました。ラストのフリーセッションは『My Home Beach』で表現したい、ホームパーティ感が見事に現れ最高に盛り上がり幕を閉じました。



## 企業協賛

公益財団法人 日本財団 様 FREAK'S STORE様  
株式会社 チェリオコーポレーション 様 株式会社 シミズオクト 様  
株式会社 ムラサキスポーツ 様 yogacco 様 7COM 株式会社 様  
株式会社 大一東陽通信 様 セガサミーホールディングス 株式会社 様  
株式会社 白寿殿 様 アルファーフーズ 株式会社 様 有限会社 佐精 様  
株式会社 アズワークス 様 株式会社ANTY'S 様  
株式会社 ネオ・ワークス 様 株式会社 西洋ハウジング 様  
株式会社 一ノ蔵 様 キリン 株式会社 様 株式会社 ハウス 様  
株式会社 DINGO 様 有限会社 岩本建設 様 株式会社 ITOON 様  
七ヶ浜建設安全協会 様 株式会社 S・A・Y 様 有限会社 天照 様  
有限会社 きんずオフィス 様 STELLA YOGA 様 BAY WAVE 様  
株式会社 ワタベ産業 様 株式会社 コズモ 様 株式会社 パルックス 様  
サミー 株式会社 様 有限会社 長尾設備 様 株式会社 ジャパン交通 様  
生鮮館 多賀城びっくり市 様 有限会社 さとう精肉店 様 Studio Feel 様  
うぶこえプロジェクト 様 多賀城 みそらの里 様 愛さんさん宅食 株式会社 様  
Seven beach manna 様 港町の鉄板焼 様 藤崎デザイン室 様  
農業生産法人 株式会社 GRA 様 有限会社 風の丘 様 SEA SAW 様

## 個人協賛

栗原 未央 様 齋藤 亜紀子 様 鈴木 和喜 様 福井 大輔 様 中村 晋也 様  
中野 みさき 様 太田 真 様 小松 達之 様 瀬島 一瑛 様 赤塚 映子 様  
豊島 栄美 様 福山 敦子 様 杉浦 純 様 芳岡 孝将 様 吉岡 秀祐 様  
大塚 彰子 様 高橋 一平 様 武井 恵 様 佐藤 謙伍 様 内山 康代 様  
高山 智社 様 阿部 和花 様 高山 典子 様 鈴木 由美 様 畔上 俊文 様  
相澤 真帆 様 加藤 真子 様 Toiro Works 様 瀬戸 友理恵 様 菊池 龍蔵 様  
岡本 春菜 様 大宮 千春 様 伊藤 颯希 様 小林 麻衣 様 鈴木 正崇 様  
加藤 佳代子 様 きさら 様 白鳥 蘭 様 赤石 洋 様 青野 伸子 様 藤原 峻 様  
大沼 順子 様 櫻井 様 納庄 貴光 様 久保田 靖朗 様 FUJIKEN\_KICKOFF 様  
double.double 様 sato hirokazu 様 Dunya Ono Yuko 様  
Hiroki Yonekawa 様 rosso-toscana 様 akikosd 様 Motokawa Akira 様

## 企業協賛グッズ

### コラボTシャツ



2018年のコンセプトを胸に、コンテンツが素敵にデザインされた。バックプリントには協賛企業のロゴが入り、ボランティアスタッフはじめ高校生、出演ミュージシャンなど参加スタッフ200名近くがフェス当日に着用し、今年は販売もさせていただきました。

FREAK'S STORE

### コラボ日本酒ラベル



円の中に集まっていくような「My Home Beach」を表現しながらも、山吹色の部分は菖蒲田浜と近くのまだ海開きがされていない深沼海岸や野蒜海岸などをイメージ。



## 活動メンバー

久保田靖朗・喜多直人・高橋龍矢・佐藤真奈実・相澤真帆・工藤葉子・佐藤隆英・十色めぐみ・田野うづわ・中澤拓摩  
中澤真・渡邊拓弥・鈴木若子・櫻井雅哉・櫻井陽子・目黒雄樹・嶋佳子・長田愛生・長田瑠音・アサノタケフミ  
山田毅・舟井伸隆・齊藤春香・青木和奏・櫻井美代子・市村均・土見大介・藤原茜・藤田翔吾・横山嵩平・吉田晃三  
阿部秀一・長尾浩一・長尾美波・星真由美・武井恵・菅野玉起・下司晋也・舛田龍輝・藤原峻・砂口絵梨子・渡辺圭  
増子宣子・仙石和子(じゃみら)・稲妻まどか・飯田司・佐藤花予・我妻卓郎・水野恵理・及川紀久美・丸山理  
大坂昌輝・千葉瑛夫・鈴木正崇・石井敏郎・日下知美・板橋充・藤村崇・大友湧矢・鈴木亜里沙・澤田苑佳・菅達矢  
鈴木亜希・磯部隼斗・大内飛鳥・高木千里・佐々木彬聡・櫻井弘斗・佐藤恵美子・高橋正和・鈴木ゆきこ・加藤真子  
菊池龍蔵・瀬戸友理恵・小野寺清孝・山崎美紅・紀野國七海・山本萌乃・山内海奈・瀬成田実

## 協力

七ヶ浜町産業課・七ヶ浜町政策課・七ヶ浜町観光協会  
エフエムベイエリア(株)BAYWAVE・Fプロジェクト・株式会社くろしお  
仙台うみの杜水族館・多賀城高校・七ヶ浜中学校・向洋中学校  
松島中学校・七ヶ浜きずなハウス・多賀城鶴ヶ谷児童館  
多賀城あやめまつり・多賀城こどもまつり・Toiro Works  
シャンティ(高橋京実・きさら・Crearth・中澤千子・板橋理恵)  
Art Cafe Bar SEASAW・Cafe La Luna・SHICHI NO Cafe  
慢瑤茶・カトマンドゥ・コトリコーヒー・マザーふぁーむ・Happy.庭  
Pilina\_ao・とんぼ玉 のんか・vintage furniture Aiwon(KEITA CANDLE)  
Kaori-0922・Seven Beach manna・むかい\*いきもの研究所  
Flower Form 四季彩・Me & RK・Patisserie Oeuf・TBC夏まつり

## 収支報告

コーディネート・技術 諸謝金	¥4,036,990
広告宣伝費	¥118,145
建設依託費	¥1,730,304
中高生ワークショップ開催費	¥1,202,820
装飾備品費	¥772,201
事務局事業管理費	¥1,950,350
イベント保険等	¥81,800
合計	¥9,892,610